

各委員会での主な審議結果

総務企画委員会

能代市空き家等の適正管理に関する条例の一部改正は、空家特措法の施行に伴い、法律と重複する規定の削除等をするもの。

質 特措法施行と条例改正により期待される効果は。

答 特措法では、倒壊の危険があり、または衛生上有害となるおそれがある空家を、新たに特定空家と規定し、助言、指導、勧告の対象を明確化。空家対策が、より計画的に行える。また固定資産税の課税台帳に記載された所有者情報を取得できるようになり、所有者が把握しやすくなった。

質 空家の状況と所有者の把握状況は。

答 市内に1521戸を把握している。うち、1301戸について所有者を把握している。

質 特定空家への対応状況は。

答 特定空家は31戸。所有者に適正管理について通知。うち1戸には緊急措置を行い、2戸には指導書により指導を行っている。

公有水面埋立地用途変更は、能代火力発電所の灰捨て場の用途変更に対し、能代港湾管理者である県に意見を述べようとするもの。32年度で埋め立てを終了し、その後は工業

用地として活用される。

質 埋立地に太陽光発電施設の計画を聞くが。

答 県に太陽光発電施設の設置構想はあるようだが、具体的内容は未定と伺っている。

質 9月補正予算。歳入歳出にそれぞれ2億5500万円を追加。歳入では、地方交付税2億3393万円の追加、財政調整基金入金と庁舎建設基金繰入金3億8654万7000円の減額、前年度繰越金6億2664万9000円の追加、庁舎整備事業債と臨時財政対策債2億2140万円の減額が、その主なもの。

質 繰入について。

答 繰入で、予算に対し市税が約6100万円の増収となったほか、歳出で、除排雪対策費で約1億6300万円、生活保護費で約1億4100万円が不用額となったことによる。

質 歳出について。

答 PCB廃棄物処理の見直しは。

答 現在、高濃度PCBは蛍光灯安定器275台、629・2キログラムとコンデンサ1台、46・8キログラムで処理費用は約1800万円。処理場のある北海道への運搬で100万円。県内で処理できる低濃度PCBと合わせ、約1960万円を見込む。

(小野 立)

庁舎整備特別委員会

質 議場の映像音響設備における整備の基本的な考え方は。

答 整備に当たっては他市議会の設備状況、求められる機能などについて議会事務局とも相談しつつ整備実績のある業者から見積もりをとるなどし、運営に支障をきたさない十分な設備となるよう整備する。

質 新庁舎の完成引き渡し等の時期について。

答 工事の現況は、家具工事、設備機器等の設置や試験運転調整、外構工事等を行っており、9月30日の工期までに完成できる見込みである。引き渡しについては施工業者から完成届が提出された後、14日以内に行う検査に合格し、完了となる。

質 健康づくり課健康企画係の配置場所が新庁舎から保健センターに変更された経緯について。また配置変更により市民にとって不便が生じるのでは。

答 計画当初は、窓口機能の集約化及び他部署との健康施策連携を考慮していたが、その後検討を重ねた結果、課の分断により業務に支障をきたすとの意見もあり総合的に検討し配置を見直したものである。また配置を予定していた課では直接窓口で担当しなければいけない案件は少なく、変更後の窓口で大部分は対応できると考える。

質 屋外に設置が予定される喫煙所の排気環境は。

答 室内に分煙機を設置することのほか、喫煙所は通常、人の通りが少ない場所であり道路からも距離をとり影響が出ないよう配慮していく。

質 旧議事堂の使用について。

答 現在、使用基準は未確定であるが、基本的には国や県の依頼事業、市が事務局となっている団体の事業のほか、市民からの申し込みでは営利目的や政治活動、宗教活動ではないことを判断材料としていくことになると考えている。

質 耳の不自由な方の傍聴に対してどう検討してきたか。

答 難聴者への対応する範囲によって購入費に差があるため入札差金等を見ながら検討したい。

質 工期延長により平成29年度まで第一庁舎の改修工事を行うことで当初予定していた工事費が追加されることはあるか。

答 当初予算において単価の上昇を見込んで措置しており工事費の追加はないものと考えている。

(佐藤智一)

